



住宅ジャーナル

2007 1 月号 NO.1285

CONTENTS

住鬼opinion 40年前からの住宅余りのツケ 7

NEWS FRONT

- ・「顔の見える木材での家づくり」事例調査結果 林野庁 8
- ・「ザウス・ロンジャビティ」をFC展開 (株)ザウスコミュニケーション 8
- ②部分隔離アスベスト除去ラッピング工法 小川テック、ミヤデラ 9
- ・「ふれあい計測システム」開始 ホームテック(株) 10

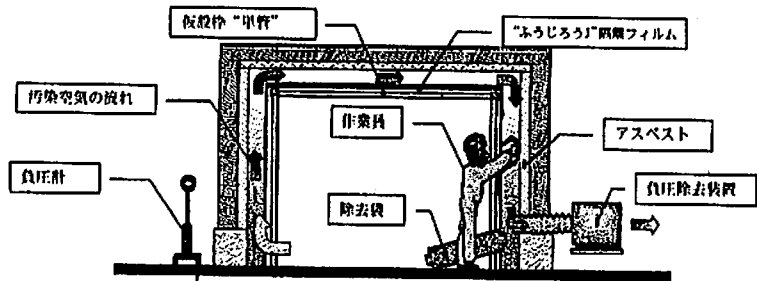
NEWS FRONT

アスベスト除去処理を簡素化、コストダウン
部分隔離アスベスト除去ラッピング工法
「ふうじろう」 Jシリーズ」
小川テック、ミヤデラ

小川テックの「ふうじろう」は、頑丈な膜により部分的にアスベストを隔離（ラッピング）し、膜の外部から除去を行う安全な作業が可能になる工法。これにより、大規模な全体隔離が不要になり、工程短縮、作業の安全化、また従来工法より10〜20%のコストダウンが可能。

アスベスト処理企業である、(株)小川テック（東京都江東区、TEL 03-5677-1267）が、(株)ミヤデラ（東京都品川区、TEL 03-3474-3620）の技術協力を受け開発、第一号として都内・杉並区のマンションのアスベスト除去施工を完了した。

施工は、まず建物に吹き付けられたアスベストの間近30〜50cmに隔離フィルムである「ふうじろうJ」を装着。フィルムの支持は50cmピッチで内側の仮設枠（パイプ）にロープで結束する。府厚除塵装置を起動させると除去空間に



負厚が生じる。負厚が生じることでフィルム破損によるアスベストの除去を開始する。工具やホースなどの出し入れは専用の投入口により大気飛散を防止している。除去されたアスベストは、密閉状態でセットさせ除去袋に格納し搬出する。

この一連のシステムにより、大規模な全体隔離が不要となり、工程短縮、作業の安全化、コストダウンが可能になる。